

地域看護学講座／環境科学領域

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	出口 洋二	昭和 57 年 4 月－（平成 11 年 4 月－現職）
----	-------	------------------------------

2. 研究概要

地域住民の生活実態に基づいた大学を知的拠点とする健康支援体制の構築

● 研究概要

本研究は昨年度から開始した本学における文科省 COC 事業の一環である。本年度は『福井市の糖尿病予防に係る支援・評価と学士・修士課程における糖尿病教育への授業の展開』（コア教員：上野栄一教授）を課題として、当領域はアクティブメンバーとして参画した。昨年度作成した福井市民向けの糖尿病予防啓蒙ポスターの特定健診受診者への配布や市内主要店舗への掲示が、市民の予防意識向上に効果があるといえるか評価するために、福井市保健センターで特定健診やがん検診等の受診者に対してアンケート調査を実施した。ポスターから感じる自己の生活側面に対する意識レベルが、ポスターを初めて見た人と自宅や店舗でポスターを見たことがある人ではどのように異なるか、当領域が統計解析を担当した。

● キーワード

公衆衛生，疫学

● 業績年の進捗状況

平成 26 年 9 月 10 日から 11 月 27 日に福井市保健センター実施した特定健診、がん検診および骨そしょう症検診受診者 961 名（男性 280 名、女性 681 名）から得られた無記名自記式アンケート調査を解析した。

糖尿病予防の啓蒙ポスターを見た覚えのある人は約 25%であったが、食生活と運動両面への意識を高める有意な影響が認められた。ポスター閲覧履歴が極めて少ない 20～39 歳の年齢層を含めた場合には特定健診受診歴が食生活への意識を高めるものの、40 歳以上では食生活、運動いずれにも特定健診受診歴は有意な影響が認められなかったことより、昨年度作成した啓蒙ポスターは福井市民の食生活・運動両面に対する意識を高める有効な手段であることが示唆された。

● 特色等

本研究は、大学が専門的技術を提供する（知的拠点となる）ことで、地域住民への健康支援サービスを、科学的根拠をもって実施できることを示した。

● 本学の理念との関係

本研究は、世界水準で独創的かつ地域の特色に鑑みた医学研究を実施する本学の理念に合致するものである。

3. 研究実績

区 分	編 数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2009～2014 年分	2014 年分	2009～2014 年分	2014 年分
和文原著論文	2	1	—————	—————

英文論文	ファーストオーサー	0	0	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)
	コレスポ ンデ ینگ* オーサー	0	0	0.000 (0.000)	0.000 (0.000)
	その他	8	1	12.082 (6.418)	5.664 (0.000)
	合計	8	1	12.082 (6.418)	5.664 (0.000)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：論文等

a. 総説

1483001

+B. A. Muzembo, Y. Deguchi, +N.R.Ngatu, +M.Eitoku, +R.Hirota, +N.Suganuma: Selenium and exposure to fibrogenic mineral dust: A mini-review. Environment International, 77, 16-24, 2015.01, #5.664, DOI; 10.1016/j.envint.2015.01.002

(2) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

1483002

*川口 めぐみ, *長谷川 美香, 出口 洋二: 退院 1 年未満の統合失調症患者を介護している親の介護負担感の関連要因. 家族看護学研究, 20 (1) , 2-12, 2014.09

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 一般講演（ポスター）

1483003

*M. Kawaguchi, *M.Hasegawa, Y.Deguchi: Factors related to caregiver burdens for parents of schizophrenic patients in Japanese provincial cities, 35th International Association for Human Caring Conference, 2014.05, 2014.05

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	研究種目	課 題 名	代表者名	分担者名	期 間 (年度)	金 額 (配分額)
学内競争的資金	競争的配分経費・教育	平成 26 年度 「地（知）の拠点整備事業（大学 COC 事業）	*上野 栄一	出口 洋二	2014	784 千円

(B) 奨学寄附金

受入件数	1 件
受入金額	100,000 円

5. その他の研究関連活動

(A) 学会の実績

学会の名称	役職名	氏名
日本衛生学会	評議員	出口 洋二
日本栄養改善学会	評議員	出口 洋二
日本微量元素学会	評議員	出口 洋二

6. 産業・社会への貢献

(A) 国・地域等への貢献

(1) 審議会・委員会・公益法人・会社等への参加状況

区分	機関・委員会の名称等	役職	氏名	期間
国	環境省，ヒト試料による POPs モニタリング勉強会	委員	出口洋二	2003.04～
地方自治体	福井県保険者協議会，特定健診・特定保健指導等評価検討会	委員	出口 洋二	2014.04～ 2016.03
その他	仁愛女子短期大学，倫理審査委員会	委員	出口 洋二	2014.04～ 2016.03

(2) 社会人等への貢献及び学校等との連携・協力による活動

区分	活動名・活動内容	主催者・対象者等	氏名
講演・セミナー等	平成 26 年度看護実践能力開発講座，量的研究と質的研究のコラボレーション	福井大学大学院医学系研究科附属看護キャリアアップセンター，専門職業人，62 人	*上野 栄一，出口 洋二，+増田 安代，+松原 直美，+安藤 則子

(B) その他業績

- *上野 栄一，出口 洋二，*繁田 里美，+縣 留美，+間所 奈美恵，+越後 美香：文部科学省「地（知）の拠点整備事業」平成 26 年度 C O C 事業 福井市の糖尿病予防に係る支援・評価と学士・修士課程における糖尿病教育への授業の展開，文部科学省「地（知）の拠点整備事業」，2014.04～2015.03